

令和4年第6回熊野町議会全員協議会

会議録

1. 招集年月日 令和4年6月30日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和4年6月30日

~~~~~○~~~~~

4. 出席議員（16名）

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1番 水原耕一  | 2番 福垣内邦治  |
| 3番 光本一也  | 4番 中島数宜   |
| 5番 尺田耕平  | 6番 竹爪憲吾   |
| 7番 諏訪本光  | 8番 沖田ゆかり  |
| 11番 民法正則 | 12番 荒瀧穂積  |
| 13番 山吹富邦 | 14番 山野千佳子 |
| 15番 中原裕侑 | 16番 大瀬戸宏樹 |

~~~~~○~~~~~

5. 欠席議員（2名）

- | | |
|--------|----------|
| 9番 片川学 | 10番 時光良造 |
|--------|----------|

~~~~~○~~~~~

6. 説明のため出席した者の職氏名

なし

~~~~~○~~~~~

7. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

| | |
|--------|------|
| 議会事務局長 | 榎並正和 |
|--------|------|

~~~~~○~~~~~

8. 案件

【議会】

- (1) 常任委員会の再編について（協議）
- (2) その他

~~~~~○~~~~~

9. 議事の内容

(開会 9時27分)

○議会事務局長（榎並） おはようございます。

本日は、時光議員さんと、それから片川議員さんのほうが欠席の御連絡がございましたので、御報告いたします。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ちょっと早いですが、始めます。

おはようございます。

議員の皆様方、本日はお忙しい中を全員協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。皆様から様々な御意見をいただきながら本日の全員協議会を円滑に進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いします。

それでは、これより協議案件、常任委員会の再編について協議をします。

前回の全協において、常任委員会の再編について次回の全協から検討するというところで、近隣の町の常任委員会の定数や、全国市町村議会の当町の人口規模で議員定数が14人の町村議会の常任委員会の構成状況などについて整理させました。

まず、事前に用意させました資料について、その概要の説明を受けたいと思いますが、資料はありますか、皆さん。

それでは、事務局長にお願いします。榎並事務局長。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） 失礼いたします。

お手元のほうに資料があると思いますが、まず一番最初に、一番上にあるのが広島県のまちの中での今の現状でございます。議員の定数並びに委員会の数というふうな形で、今現状こういった形で広島県内ではこういう状況になっていることを一応お知らせしたいと思います。

それから、その後ろにありますのは、全国の町村議会のほうで同じ規模の人口で、あと議員定数が14の町村についてまとめたものでございますので、参考に見ていただければと思っております。

元に戻っていただきまして、一番上のところで、海田町のところで、2番目のところなんですけども、常任委員会の活動のところの設置総数が4と書いてあるんですけども、これは何か間違いで、今2だということなので、2に訂正をお願いします。以前、もと

もと4あったらしいんですけども、現状は2になっておるといことで確認をしております。

委員会の内容の中にいろいろと、どれがどこに入るのか分からない部分もあるので、ちょっと簡単なんですけども、色分けで、こういう形になるのかなという形で4つの種類で色を分けさせていただいて、どこの部署に入るのかというふうな形での委員会のお示しをさせていただいたような状況でございます。

以上でございます。

~~~~~〇~~~~~

〇議長（大瀬戸） 今説明が終わりました。

この常任委員会をどうするかという話に関しては、おおむね12月ぐらいの議会で条例化すればいいのかなと思っておりますので、時間が少しありますから、ゆっくり審議していけるんじゃないかと思っています。

まず、今作ってもらったこの資料なんですけれども、それぞれのまちのそれぞれのやり方があって、たまたま広島県の場合は定数14というところがないんですけど、近いのは海田の16なんですけど、海田は今2つでやってる。府中は18人で3つでやってるというような現状だそうです。2つ以上の委員会にダブって、重複してやっているところは県内ではないようです。県外で言いますと、3つあるところが、この次のページですけど、例えば千葉県栄町というのは8人ずつ、これは重複してやってるところですね。それから、その上の群馬県吉岡町、これもそうですね。そういったところもあります。

まず、皆さんの、これを持ち帰っていただいて、皆さんなりの思いもあるでしょうから、これからこのほうがいいんじゃないとか、こうしたほうがいいのかということをそれぞれ検討していただきたいんですけど。今日の場合はざっくり、今の段階で皆さんの御意見を聞いてみたいなと思いますので、よろしくお願ひしたいんですが。御意見ございませんか。例えば希望とか、あるいはこのほうがいいのか。特にあればそういったところから掘り下げていけたらと思うんですけど。特にないですか。

尺田議員。

~~~~~〇~~~~~

〇5番（尺田） 誰もしゃべらんけえ。

最初決めるところは、現状の3委員会でいくんか、2委員会でやるんかというところ

を最初に決めるべきだと思うんですけども、2委員会にするんだったら、個人的に考えたらちょっと調査研究する分野が広くなり過ぎるのかなという、十分な審議がそれでできるのかなという思いがあるんですよね。希望としたら、現状どおり3委員会のままでやりたいんだけど、人が減る分、どうだろう。常任委員会についてはダブって入れるような格好でやりつつ、事務分担についちゃあ偏りが現状あると思うんで、範囲としては、3委員会のまましつつ事務分担ですよね、調査する事務分担のほうを再編すればいいのかなというふうに思います。

海田についちゃ、2委員会ということなんですけど、あそこは2委員会にしとる代わりにたしか特別委員会がすごい多いんですよね。だから、海田のようなああいう特別委員会が活発なところについては2委員会のほうがいいのかないかなというふうには思うんで、個人的には現状3委員会にしつつ、内容をもう一回再編すればいいのかなというふうに思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

今、御意見ありました3委員会で重複してやるということですよ。4人、5人ということじゃなくてでしょう。重複してやるということですね。そういう意見がございましたが、ほかにございませんか。

竹爪議員。

~~~~~○~~~~~

○6番（竹爪） 僕の今の考え方だったら2委員会でもよろしいかなと思ったりする部分と、皆さんと協議の上ですけど、議会広報特別委員会ですよ。あれもこの中にはあるところはあるんですけど、普通の委員会に広報を入れて3つにするという案もあってもいいのかなという部分があると思うんですけど。そういうことはまた皆さんとの協議の中で決めるべきだろうと思うんですけど。

会議中の人数というのは、14名になればあまり少ないのでは会議にならないんで、やっぱり最低限、中には議長が入る、入らんもありますけど、7人程度の委員を僕は確保すべきではなかろうかなという思いはあります。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

今、意見としては広報委員会を常任委員会として捉えるということでしょうかね。3つでいって、そういう意味で重複するということになると思うんですけど、そういう意見もございます。

沖田議員。

~~~~~〇~~~~~

〇8番（沖田） 私も2つの委員会でやっていくべきと考えます。というのが、今こちらに出ている広島県の委員会の例なんですけども、これ現状はあまり把握してないというか。例えば、国では縦割りを打破するためにこども家庭庁が創設されます。今、私自身が文教委員会にいて長年感じてきたことなんですけど、子供に関することというのは、重層的支援体制にも含まれますが、親が障害であったり、おばあちゃん、おじいちゃんを介護しているヤングケアラーであったり、そういった問題を含んできますので、文教と厚生というのがやはり一緒になるのが国に沿った形としていいのかなというふうに思います。

また、今本当に日本中、防災ということが中心に考えられていますけども、総務にある防災と建設というのは本当に密接な関係にあるところですので、総務・建設・産業ということで1つの委員会として、文教・厚生が1つの委員会として、先ほど竹爪議員も言われたように7人はいないと、5人、4人ということになりますと、以前視察に訪れたときに大変先方さんに申し訳ないような人数だったんですが、1人休めば5人だと4人になるんですけど、委員会をするに当たっても、委員長、副委員長が退いたら委員が2人みたいなことになるんですよ。ですから、十分な議論もできませんし、最低7人は要るのではないのかなと思いますので、そのほうがいいのではないかと思います。

以上です。

~~~~~〇~~~~~

〇議長（大瀬戸） 諏訪本議員。

~~~~~〇~~~~~

〇7番（諏訪本） さかのぼった話をするようになるんですけど、要するに16から14にするときに、私は16というか、14には賛成しなかったんですけども、その14にするときに、あのときも言ったんですけど、ある程度14にする根拠ですよ。こういったものがあつた上で14という提案がされとんだと思いますけども、その14の案を考えられた方は、ある程度この委員会についてもどういう方向にするかということについて、

ある程度考え方、案を持った上での提案であったのではないかというように私は思っております。だから、そのときのある程度14の方々の御意見というか、ここを聞くのが一番最初じゃないかなというように私は思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 分かりました。

どうでしょう。じゃあ、特に定数削減のときに、この委員会の在り方を突き詰めてやったかどうかというところはちょっと曖昧なところはあるかもしれませんが、それについて御意見ありませんか。

光本議員。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） 立ったほうがいい。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） いいです、座ってください。コロナの間は。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） 私は賛成を、2減に賛成をしましたが、実のところを言うと、14よりもっと下げてもええと思いはありました。ということで、委員会も含めて、要は柔軟にどういう体制でもできると。それで、町のほうも機構改革をその都度、その都度、今までも行ってきたし、昨年度も機構改革をする中で、それぞれ事務分掌を変えてきてるというんで、それは委員会の構成においても時代に合うたように柔軟につくって、つくりかえていけばいいというように考えてます。

話をあまり元へ戻すんじゃなくて、これからのことをやっぱり考えていかんと、あのときどうじゃった、こうじゃったというてまた言い出しても前に進まないので、これからどうするんかというところをきちんと皆さんで議論をすべきだと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

というような意見ですが、ほかにございませんか。

沖田議員。

~~~~~○~~~~~

○8番（沖田） 私は諏訪本議員のおっしゃるとおりだと思います。削減にありきで進めていらっしやったのであるのか、それとも2を減った場合、14になった場合の委員会

はこのようにやっていくのだといったものがあつたのかどうかということは非常に大事なことだと思います。それが委員会のことまで考えてなくてただ2を減らしたというのであれば、それはどのように町民に説明をするのかなというふうに思いますので、議長から、ぜひ定数2削減に関して賛成された方に委員会についてどのように考えているのかというのは聞いていただきたいと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 御意見ありませんか、じゃあほかに。

民法議員。

~~~~~○~~~~~

○11番（民法） 今沖田議員が言われたんですが、私は、定数削減については議員なりたてから賛成というか、ずっと動いてまいりました。それはなぜかという、やはり住民の声が、定数が多過ぎるというような声。それと、議会改革で定数、報酬、下げようじゃないかというような声が大きくなりまして、ずっと動いてきたわけでございます。

14にした場合に、委員会をどういうふうにするかというのは、そのときになってみてまた皆さんで考えればいいことと思って、委員会のことは考えてませんでした。それで、住民には説明というか、定数が減ってよかったねというような声はよく聞きます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

ほかにございませんか。意見は。

~~~~~○~~~~~

○15番（中原） 終わりじゃろ。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） もうちょっと待ってください。

今、いろいろ意見が出ましたが、どっちにしても今現状3つの委員会を14人でそのまま引き継ぐという、先ほど意見がありました4人とか5人とかというレベルになりますので。

~~~~~○~~~~~

○15番（中原） 条例をつくるいうて、12月に条例案をつくる言われるんじやが、どうじゃろうか、新しく来年の4月に選挙があるんよね。その後でもええんじやないか思

う。新しくなった人でみんなで話し合いをする。そうせんと、今回の定数削減のような問題になってくるんじゃないか思うんですがね。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） そうすると、空白時間。

~~~~~○~~~~~

○15番（中原） ……1か月ある。1か月ありゃ話し合いができるわけでしょう。新しくなられて、議長を決める、副議長を決める、そのときに委員会構成も決めりゃええんじゃない。そのときに条例をつくって、そうしてもええんじゃないか思うけどね。わしはそれが当たり前じゃ思うよ。そうせんと、今まで話し合いしてきたことが全部今まで覆されたわけじゃけえ、定数削減のときに。じゃけ、それはまたこの前話し合いしたのにと
いうような形になりゃせんかなと思うんよね。じゃけ、来年の4月の選挙が済んで、新しく議員になられて、それで話し合いをされてやったらどうかのと思うんですがね。

いや、今みんなの意見を聞いとくべきですよ。聞いとくべきじゃが、新しくなられた議員で新しい体制をつくられたほうがええんじゃないかと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 問題はないかな。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） 変えない限りは3委員会はそのままですね。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ただ、条例の中に何委員会は何人というふうまで書いてあるんで。

~~~~~○~~~~~

○15番（中原） そのときつくり変えりゃええが。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） だから、それがいつまで有効なんかな。任期満了まで有効なのか、ずっとか、関係ないんか。

~~~~~○~~~~~

○議会事務局長（榎並） 条例の中で委員会はこういう委員会ですよ、定数幾らですよ
というような形、定まってる内容なんで。現状で。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） 臨時会で決めよったじゃないですか、委員会所属を。臨時会で決めよつ



た、要はタイム的に、スケジュール的にそれが可能なんならあれじゃけどね。

~~~~~○~~~~~

○13番（山吹） 順序としてね。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 今回4人がひっくり返ったんじゃけえ、意見がひっくり返った。

~~~~~○~~~~~

○3番（光本） 要は手続的なことになるけえ、それが可能であればそれでもええかなと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 今の御意見ですけど、来年の、ですから改選後に新しく委員会条例をつくるという御意見でしたが、これにつきましてどうでしょうか。今ありましたが。

~~~~~○~~~~~

○14番（山野） 今もし新しい議員が、例えば今みたいに4人いらっしゃって、その方が1か月の間で、今の委員会の内容が全部把握できるかどうか。そこでそういうのを決められるのかどうか。そういうのはちょっと難しいんじゃ、予算から何から全部分かって分割するということに、そういう作業が、当選した、議長を決めた、常任委員会も決めるというところで、考えられるかどうか。物理的な考え方はどうですかね。

~~~~~○~~~~~

○15番（中原） 定数削減も一緒じゃないん。

~~~~~○~~~~~

○14番（山野） 定数削減は関係ないですよ。

~~~~~○~~~~~

○15番（中原） 関係あるよ、一番大事なことじゃ。定数削減が一番大事なことよ。

~~~~~○~~~~~

○14番（山野） もちろん定数削減、さっき言われたように定数削減のところでは、私はもう委員会のことも考えておりますよ。14人になれば、もう5、4じゃちょっと無理じゃろうと。2つに分ける。昔のやり方、昔の予算からいくと、民生がかなり膨らんでくるから、民生総務の中で1つにやってしまうと、文教なんかもうほとんど、建設も予算がなくなってくるから、その辺でやっぱりもう一回再生をしないとイケないだろうとは思ってますからね。

○2番（福垣内） 私も中原議員のさっきの、基本的には次の方が決めるというのが筋だろうと思います。といいますのが、今期が終わる最後に決めておいてしまったら、次に意見をお持ちになって入られた方は、実は先月決めたばかりだという理由で、意見表明ですとか、考えを反映させる機会が奪われるだろうと思います。確かに、入った段階で委員会構成の守備範囲といいたいまいしょうか、全て分かっているわけではないんですけども、この時期から委員会構成を協議していったって、2案ですとか3案ですとかにまとめていったって、そして新しい議員さんが選ばれちゃった段階で説明の機会を設けると。今回の会議等々に出られている方はその内容を知ってるわけですが、仮に新しい方が入られたときにはその会議にいなかったわけで、それはこういう会議が前期、令和4年に行われましたと、こうこうこういうことですので、委員会の構成をどうするかというのが、当初で申し訳ないがあるよという言い方、説明をすべきだと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 中島議員。

~~~~~○~~~~~

○4番（中島） 私も新任の3名の方と基本的には一緒なんですけど、2つの委員会がいいのかなと思ってますが。当初、どなた方もあったと思いますけど、そこまで考えて2名減というふうなことは考えておりません。それは初めてこういうところを経験するわけで、そこまで余裕がないというのが現状だったんですけど、そのようなことを今度の4月に、我々の立場と同じような方がまた入ってこられるかも分かりませんが、そこを想定してみるに、やっぱり12月を目途にある程度の編成案をつくりつつ、来春に向けての準備をしたほうがいいのかという感じがいたします。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

ほかにはございませんか。

いろんな意見が出ました。それで決める時期の話も出ました。これについてはやっぱり皆さんいろいろ御意見があるようなので、またそれぞれもんでもらって、時期も含めて、また来月まで皆さんそれぞれ検討しておいていただきたいなと思いますので、今日のところはこういう現状があるよということと、それから皆さんこういう考え方を持っておられますよということを加味していただければと思いますので、よろしくお願いたします。

それでは、この常任委員会、まだ余裕がありますので、特に来年度に変えるとなるとまだ十分ありますから、慌てて考えることはないので、ゆっくりとやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 今まとめられたんかも分かりませんが、実に中途半端なんですよ。やっぱり真剣に常任委員会って何をするとこなのかとか、今の人数の件でも住民は喜んでるといふ。どういう喜び方をされとるんか。もっと詳しく発言をいただきたいし、光本議員のもっと減らしたかったと、その根拠もお聞きしたいし、議員の役目って何なのかという。だから、そこらももっともっと深めていただきたいと思っております。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 今の御意見に何かありますか。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 今日せえ言うんじゃない。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） そうですね、それぞれの方の考え方はあると思っておりますし、今日の意見でまた、そういやそうじゃのというような気づきもあるでしょうから、またじっくり考えていただければいいのかなと。

山吹議員。

~~~~~○~~~~~

○13番（山吹） 私の思いを話しときたいのですが、これはやっぱり中原さんが言われたとおりだと思うんですが、先輩議員の立場として、皆さん、先輩議員として考えて、2つの委員会、3つの委員会を選択肢を設けるように、その中身を先輩議員さんらが2委員になったらこのような体制です。3つの委員会になるとこのような方式でやらせてもらいますというものを立てられんと、新しくなられた人も理解もしにくいですし、選択もしにくいと思うんで。私は2つでいいと思うんですよ。それで話を聞いていけば、中原さんの言われるとおり、新しい議員さんで考えてもらえばいいんですが、新しい議員さんが分らんだらと思うんで、2委員会、3委員会の組織なり、また仕事なりを、ここでこれから考えてあげたら選びよんじゃないかなというふうに思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 分かりました。そうですね。来春の改選後に1回でばさっと決めるといのはなかなか乱暴なのかもしれませんので、今言われたように、ある程度の案を何案かをここでつくった段階で、決定を改選後にするという手はあると思いますね。

荒瀧議員。

~~~~~○~~~~~

○12番（荒瀧） 水原さんの意見の中で、建設産業は少しは分かってらっしゃるということではあるんですが、ほかのほうも分からないとなれば、全部に所属するという方法もあるんですよ。全員がそれぞれの、当面はね。だから、そういう意味で、やはりまだ風通しが悪いんです。やっぱり委員会の。建設だけであればほかのことが分かりにくいというのはちょっとまずいことですよね。やっぱりダイナミックな発想の仕方をしたほうがいいだろうと思いますね。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 人数の少ないまちの場合は、もう委員会じゃなくて全員協議会で全部やってるといところもあるようです。それか、重複で2つといところもここにあるようにありますし、神石高原のように、2つの常任委員会はそれぞれでやって、そこからうちと一緒にですけど、選抜されたものがもう一つ、議会広報常任委員会というふうな分け方をしているところ。それぞれやっぱり事情があってそうされてるんだと思うんで、そういったところを勉強して行ってベターな結果になればいいのかなというふうには思っています。どうでしょうか。何かあればあれですが。

ないようでしたら、今回に関しましてはこのあたりにして、また来月も少し触れたいと思います。

それでは、常任委員会の再編についてはこのあたりといたします。

続いて、その他ですが、何かありますか。

ないようでしたら、全員協議会はこれで終了とさせていただきます。

（閉会 9時58分）

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会議長

熊野町議会副議長